

# 緑化だより

No.54 平成22年9月号



平成21年8月10日 キタマゴタケ

○きのこユーモラスネーミング  
○庭木の手入れ  
○花だより

○研修会報告  
○研修会・イベント紹介  
○お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# きのこユーモラスネーミング

## 外国編(6) 『Blusher 赤面する人』

きのこの名前は、世界共通の学名と各国で異なった名前(日本では和名と言われる)と2通りあります。その他日本では方言名もあります。4月から外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげています。

“赤面する人”と呼ばれているキノコは日本では**ガンタケ**のことです。**ガンタケ**は触ったり傷ついたりすると次第に赤褐色に変色する性質があるので、それを何か恥ずかしい事があった時すぐ赤面する人にたとえています。人にたとえる所がユーモラスです。和名の**ガンタケ**はキノコの傘色が雁(がん)の羽根の色と似ているのでそのような名前がつけられています。

以前は食用にされていましたが、最近になって微量の毒成分を含んでいることが判明しましたので、食べないようにしてください。風貌はテングタケと似ていますが、テングタケの傘の周辺部には条線があり、柄の根元には指輪状のつぼがあり、そこで区別できます。



## 庭木の手入れ

### 『9月の手入れ』

猛暑の夏もようやく終わり、朝夕の風は秋の訪れを予感させます。暑さで弱っていた植物も元気を取り戻してきます。ただし、油断するとダメージを受けていることがあります。この時期に多い「木が弱った」、「花つきが悪くなった」などといった緑化相談は、そうしたことが原因である場合があります。

9月は、サクラやハナミズキなど来年の花芽を付け始めたり、充実する花木が沢山あります。良い花芽を咲かせるために、①極端な乾燥を防ぐ、②害虫の予防・駆除をする、ことが大切です。②の場合、アブラムシ、ハダニ、カイガラムシがつくと、咲いてもいびつな花になったり、シミがついたような花となる場合があります。また、アメリカシロヒトリ、イラガ、チャドクガなどの食害虫、テッポウムシなどの穿孔虫等が再び活動を始める時期です。こまめにチェックし駆除してください。以上のことは、花芽形成だけでなく、紅葉する種類にも同じことが言えます。

肥料は9、10月と施用を控えて下さい。この時期の施肥は、花芽が葉芽に変わったり、紅葉するものは色がボケることがあります。また、常緑広葉樹のヤマモモ、クスノキ、ウバメガシ等は、暖かい地方の原産のため、秋に新芽が伸びると、寒さの害を受けやすくなります。

最近、除草剤の使用法を誤り、木を枯らしてしまったという相談が増えています。除草剤は種類が多くあり、それぞれ使用法が異なります。それぞれの効用についてよく調べた上で使ってください。また、不明な点はお気軽にご相談ください。



テッポウムシがせん孔し、枝が衰弱、葉が変色したモミジ。こうしたサインに素早く気づくことが大切です。

# 花だより

チャノキ ツバキ科ツバキ属

茶は、コーヒーを上回り世界一消費されている飲料です。古代より茶として、チャノキの他、クコ、ビワ、クチナシ、など様々な植物が煮て飲まれてきましたが、その中で「茶」として最も優れているものがチャノキと名付けられたとされています。

チャノキは、年平均気温 13℃、年降水量 1400mm 以上あり、霧が良く発生する条件で栽培しやすい暖地性の常緑低木で、日本での栽培の北限は新潟県、一方南はインドまでと広い生育域をもちます。

原産地は中国南西部で、805年に唐の国から、仏僧最澄が持ち込んだのが、日本での起源だと言われています。しかし、庶民に普及したのはそれより後の1191年、仏僧栄西が宋から持ち帰った種子を佐賀、京都に播いたことがきっかけとなっているようです。あまり知られていませんが、佐賀県は玉緑茶の生産量が全国2位、また京都はいわずと知れた茶の名産地(宇治茶)、ともにその名残が引き継がれています。また、佐賀県では樹齢300年を超えるといわれている大木があり、嬉野の大チャノキとして国の天然記念物に指定されています。

開花の季節は9～11月頃、園内では温室の横で見ることができます。



チャノキの新芽



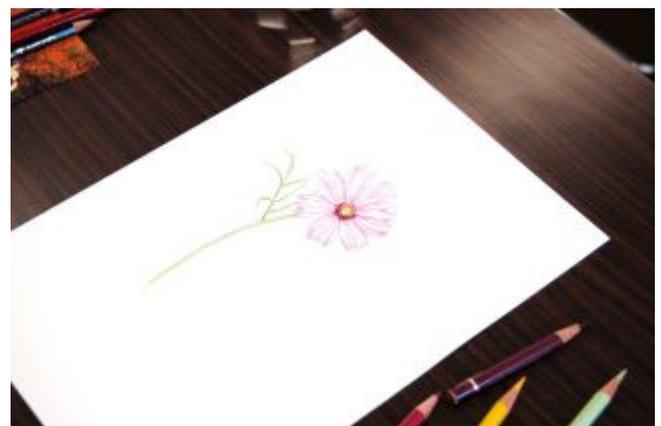
チャノキの花

## 研修会報告

8月8日(日) 『ボタニカルアート教室』

講師 広島ボタニカルアートソサイエティ

まだ写真のなかった大航海時代、植物の肖像画ともいえるボタニカルアートが、植物の様子を伝える手段として用いられてきたそうです。そのボタニカルアートを、参加者が思い思い自由に体験していました。



参加者のボタニカルアート作品

その他、8月は以下の研修会を実施しました(29日の研修会については実施予定です)。

8月20日(金) 『8月の自然探勝』 講師 広島大学名誉教授 石橋 昇

8月22日(日) 『夏休み木の実・木の枝工作』 講師 木楽工房いっちゃん 隅田 五雄

8月29日(日) 『不思議な地衣類の世界』 講師 広島大学准教授 竹下 俊治

# 研修会・イベント紹介

## 9月10日(金) 9月の自然探勝

10:00~12:00 管理事務所前集合

講師 広島大学名誉教授 石橋 昇 先生  
石橋先生による毎月恒例の自然観察会です。

## 9月12日(日) 万葉植物観察会

10:00~12:00 学習室

講師 緑化センター職員 正本 良忠  
万葉集に詠まれた植物「万葉植物」について学びながら、観察します。

## 9月16日(木) アロマセラピーを体験しよう

10:00~12:00 学習室

講師 アロマインストラクター 森下 芙巳子 先生  
ヘアローションを作ってリフレッシュしましょう。  
※要予約 先着20名様 材料代500円

## 9月20日(月) 初秋のきのこ観察会

10:00~12:00 管理事務所前集合

講師 キノコアドバイザー 川上 嘉章 先生  
食べられるきのこが多くなる秋。この季節のきのこを観察しよう。

## 9月30日(木) 健康の秘訣 ~今すぐ実践できる無病息災~

10:00~12:00 学習室

講師 安田女子大学教授 神田 博史 先生  
自然の恵みで健康を維持する方法を紹介します。



昨年の「アロマセラピーでリフレッシュ」研修会



昨年の「初秋のきのこ観察会」



昨年の「健康の秘訣」研修会

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### ◎ 30周年記念イベント

9月5日(日)に30周年記念イベントを開催します。ぜひご参加ください。詳しくは、別にパンフレットを配布していますので、そちらをご覧ください。また、それに先立ちまして、『緑の相談所』にて30周年の歩み展示を行っています。

### ◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

**古布を使った作品展** 8月21日(土)~9月26日(日)

古布や着物をリサイクルして、作られた作品を展示しています。

**愛鳥週間原画コンクール優秀作品展** 8月25日(水)~9月8日(水)

コンクールの優秀作品を展示しています。

**ボタニカルアート展** 9月9日(木)~10月4日(月)

植物を精細に描いたボタニカルアート作品を展示します。

### ◎ きのこと祭りの開催

10月9日(土)~17日(日)は、きのこと祭りとしまして、きのこに関する研修会・展示会を開催いたします。また、期間中レストハウスにてきのこ汁のサービスも予定しています。